

耶馬溪に行ってみた！

高津 美佳

中津駅から山国町辺りまでの約36キロ、耶馬溪廃線跡を利用した自転車道・メイプル耶馬サイクリングロード。今日は、中津駅からこのサイクリングロードをジョグ。中津といえば、中津からあげ、あちらこちらで匂いがする。そしてなぜか韓国系焼肉店が多い気がする。昔の駅の看板をいくつか見ながら、R212と立体交差しているところには旧駅舎があり、こちらは今は納屋として使われている様子。

最初の見どころ、厚ヶ瀬トンネル1号と2号、短いトンネルがふたつ。少しうす暗くあまり人は通っていない様子。川平間賦(かわべらまぶ)洞門の図の看板、近くに9つの間歩がある。間歩といえば炭鉱のイメージだが、山国川からの水を引くための水路・水の洞門だと書いてある。現在は使われていない。しばらく行くと「あゆ返し」という地名のところでR212と合流。少し行くと耶馬溪橋に到着。中津駅からは15キロくらい。耶馬溪橋は長さ116mの8連で石造りのアーチ橋、もうすぐ100年だそう。優雅な佇まいの美しい橋です。

次に競秀峰。昔はこの岩壁沿いの道から川に落ち命をなくす人が後を絶たなかった為に、禅海和尚は30年かけてノミとツチで全長342mのトンネル、青の洞門を掘ったそうです。早速、競秀峰に登ってみることとする。入口に案内板、軽装(短パン)禁止！今日は暑いので短パン、長ズボンは持ってきてないので気を付けて行くことにする。登ってみると下から見上げたほどの急坂ではなくて、意外と歩きやすい。次々と現れる迫力あふれる奇岩の峰々、窟の中には古い仏像や神像が祭ってある。一か所、鎖渡というところは、天井が低くて右側は崖っぷち、腰をかがめて落ちないように気を付けて通る。約1キロを1時間くらいで、弘法寺に出た。道路に出ると羅漢寺まで2キロの看板あり。行ってみよう。旧参道を通り石畳の登りが続く、と思ったらリフトが通っていた。山頂には、こんな高いところに立派なお寺と小さな池もある。帰りはリフト乗り場のほうへ下る。一応、料金を確認、片道600円、往復800円でした。そして、振り返るとへんな岩が！古羅漢でした。二つあるとは知らなかった。高さ100mくらい、行ってみたいけど、今日は急ぐので、次回！

山国川に沿って、屏風のような断崖絶壁が続く、耶馬溪！まだまだ、見てみたい！
楽しい！ また行こう！



